

めあて

本の分類のしかたを理解し、目的の本を探せるようにしよう。

◎日本十進分類法・日本の図書館で広く使われている図書分類法

0 || 調べるための本

1 || ものの考え方や心についての本

2 || 昔のことやちいきの本

3 || 社会の仕組みの本

4 || 自然にかかわる本

5 || 技術や機械の本

6 || いろいろな仕事の本

7 || 芸術やスポーツの本

8 || 言葉の本

9 || 文学の本

※基本的には一つの数字のみで分類されるわけではなく、三桁以上の数字で表されることが多い。最も大きな位の数を「類」（だから日本十進分類法）、そこから順に「綱」「目」・・・と続く。

◎探し方

・馬の登場する物語が読みたいと思ったら・・・

物語 || 文学だから、一番大きな位が

9

・ 獣医について調べたいと思ったら・・・

獣医⇨仕事に関係する話だから、一番大きな位が **6**

・ サッカーのルールをもっと詳しく知りたいと思ったら・・・

サッカー⇨スポーツだから、一番大きな位が **7**

まとめ

日本の図書館では、数字を使って、本の内容によって分類がされてある。自分の読みたい本を探すときには、ラベルを見て、自分の探したい本の内容と、ラベルの一番大きな位の数字を照らし合わせるとわかりやすい。

☆発展

自分のお気に入りの本の分類を調べよう

本の名前「

」 著者 ..

日本十進分類法で表すと

--	--	--

めあて

漢字がどのようなように成り立っているか調べよう。

◎象形文字・・・  
目に見える物の形を、具体的に描いたもの

馬・山・門・火・手・川・羊・雨など

◎指示文字・・・  
目に見えない事がらを、しるしや記号を使って表したもの

上・下・三・一・二・中など

◎会意文字・・・  
漢字の意味を組み合わせたもの

鳴・信・林・明・森・休など

◎形成文字・・・  
音をあらわす部分と、意味をあらわす部分を組み合わせたもの

草・持・編・格・銅など

問題 教科書 p351

・音を表している部分を□で囲いましょう。

例) 河 ↓ 河

銅

週

板

絵

際

☆発展 教科書 p352

・それぞれの漢字が、どの成り立ちでできているか調べましょう。

例) 魚 ↓ 象形文字

犬 ↓ 象形文字

末 ↓ 指示文字

明 ↓ 会意文字

清 ↓ 形声文字